

令和6年度 砺波市当初予算の骨子

1 予算の特徴

令和6年度は、「第2次砺波市総合計画（後期計画5年間）」の3年目に当たり、重点的かつ優先的に実施すべき施策である「10WAVEプロジェクト」について、その波及効果も期待しながら、事業の着実な進捗に努めることで、計画に掲げる将来像「～庄川と散居が織りなす花と緑のまち～ もっと元気 ほっと安心 ずっと幸せ “やっぱり砺波”」の実現を目指すものであり、

新年度予算は、「第2次砺波市総合計画」の基本方針である

- ・基本方針1 **と**もに輝き支えあう 人づくり
- ・基本方針2 **な**ごやかな暮らしを育む 安心づくり
- ・基本方針3 **み**らいに活力をつなげる まちづくり
- ・共通方針 協働と持続可能な自治体経営

の着実な実施に向けて、

「となみ暮らし魅力アップ予算Ⅳ」

として編成したものです。

一般会計当初予算としては合併後最大となる234億4,400万円、今年度（令和5年度）との比較では5億400万円の増とし、人件費や扶助費など義務的経費が増大する中でも事業の積極的な展開を図ってまいります。

特に、子育て環境の充実、公共施設照明LED化などのGX推進、スマート窓口対象事務の拡大などのDX推進、城端線・氷見線の再構築とも連携しながらチョイソコとなみ市内全域運行及び市営バス路線の最適化を図る散居村型地域公共交通再編モデル事業など、社会的要請に応え、本市の持続可能性を高める事業に取り組みます。さらには、となみ暮らし応援プロジェクトや屋敷林の保全支援、チューリップなど本市の特色を生かしたまちづくり事業にも併せて取り組み、事業の着実な進捗を図ることで、本市で暮らす魅力をさらに高め、市民の皆さんにも、新しく住まいを求める皆さんにも「住みよいまち 砺波」、「選ばれるまち 砺波」を目指すものです。

2 基本方針

(1) 第2次砺波市総合計画の実現

第2次砺波市総合計画の3つの基本方針及び共通方針に則し、本市の将来像の確実な実現を目指すものです。

(2) 「10WAVE プロジェクト」の着実な実行

WAVE 1 【つなぐ】子育て応援プロジェクト	WAVE 6 【備える】地域防災力プロジェクト
WAVE 2 【拓 く】質の高い学びプロジェクト	WAVE 7 【活かす】生活基盤等マネジメントプロジェクト
WAVE 3 【支える】健康づくりプロジェクト	WAVE 8 【結 ぶ】地域公共交通プロジェクト
WAVE 4 【選ばれる】となみ(1073)暮らし応援プロジェクト	WAVE 9 【稼 ぐ】産業振興プロジェクト
WAVE 5 【魅せる】情報発信プロジェクト	WAVE 10 【受け継ぐ】循環型社会プロジェクト

(3) 重点施策

- ①となみ(1073)暮らし応援プロジェクト、②教育の充実、③出産・子育て支援、④防災対策、⑤チューリップのまちづくり、⑥GX推進、⑦散居村型地域公共交通再編モデル事業、⑧農業振興、⑨商工業振興、⑩観光推進、⑪DX推進、⑫新市誕生20周年記念事業

3 個別主要事業

(GX推進 DX推進)

- WAVE 1 こども家庭センターの設置・運営
- WAVE 2 心の教室相談員の追加配置事業、海外留学支援奨学資金給付事業
学習者用デジタル教科書(国語)導入
- WAVE 3 緩和ケア病棟転換改修工事(病院事業会計)
- WAVE 4 となみ(1073)暮らし応援プロジェクト
- WAVE 5 スマート窓口対象事務拡大事業、となみシティプロモーション映像配信事業
- WAVE 6 「防災となみ」改定・英語版策定事業、庁舎整備事業(基本構想策定)
- WAVE 7 砺波総合運動公園野球場スコアボード改修工事、斎場火葬炉更新工事、砺波チューリップ公園再整備事業(南門新築工事ほか)
- WAVE 8 チョイソコとなみ運行事業、民営バス市内定期差額負担
- WAVE 9 商工業振興助成金、工業団地造成事業(工業団地造成事業特別会計)
- WAVE 10 公共施設照明LED化事業、公用車のEV導入、屋敷林保全支援
公共施設への再生可能エネルギー導入ポテンシャル調査
砺波市版ごみ分別便利帳の作成

※新市誕生20周年記念事業:「プロモーション事業」、「アトラクション事業」、「コラボレーション事業」の3本柱で実施